



現在、建設が進められている三陸縦貫自動車道の、本年度完成予定区間に架かる2つの橋の名称が決定し、11月12日、市役所中田庁舎で命名者への表彰式が開催され、命名者に川崎仙台河川国道事務所

夢を乗せた 2つの架け橋

三陸縦貫自動車道 市内2架橋の名称決定



命名者の皆さんに表彰状が贈られました

長から表彰状が贈られました。これは、名称を市民から募集することによって、親しみや愛着を持ってもらおうと、①中田町浅水から東和町米谷までを結ぶ、北上川と国道342号線を横架する橋、②東和町米谷地区で国道398号線を横架する橋の名称を募集したものです。名称を募集した結果①に89件、②に71件もの応募があり、応募の中から、市長や川崎事務所長、地域代表などが選考・検討した結果、①は米谷小3年の狩野弘匡くんほか7人の応募があった『新米谷大橋』に、②は浅水小1年の佐藤成美さんほか3人の応募があった『岩の沢橋』にそれぞれ決定しました。

地元の選手が各地で大活躍

第64回国民体育大会出場選手・監督報告会

第64回国民体育大会「トキめき新潟国体」(9月26〜10月6日)に出場した市出身の選手・監督の栄誉をたたえるため、「第64回国民体育大会出場選手・監督等報告会(市体育協会主催)」が11月13日、ホテルサンシャイン佐沼で開催

第64回国民体育大会出場選手・監督 (敬称略)

No.	氏名	種目	所属	出身地
1	小野寺 晃	陸上競技(選手)	豊里小・中	米山町
2	渡邊 豪	陸上競技(選手)	佐沼高3年	迫 町
3	早坂 祐哉	陸上競技(選手)	古川工業高1年	米山町
4	遊佐 公美	ボート(監督)	登米高校	迫 町
5	三塚 芳久	ボート(監督)	佐沼高校	迫 町
6	福泉 絵美	ボート(選手)	佐沼高校2年	米山町
7	伊藤 静香	ボート(選手)	佐沼高校2年	迫 町
8	小野寺志保	ボート(選手)	佐沼高校2年	中田町
9	尾張 春菜	ボート(選手)	佐沼高校2年	津山町
10	佐藤 由紀	ボート(選手)	佐沼高校2年	一関市
11	早坂 彰恵	バスケットボール(選手)	聖和学園1年	登米町
12	中津川澄男	ソフトテニス(監督)	東北高校	南方町
13	深堀 友香	剣道(選手)	清和大学4年	中田町
14	五十嵐裕子	剣道(選手)	豊里小・中	迫 町
15	佐藤加奈子	剣道(監督)	柴田高校	中田町
16	千葉 正俊	アーチェリー(監督)	米谷工業高	迫 町
17	佐々木那王	アーチェリー(選手)	米谷工業高3年	東和町
18	山田 卓	アーチェリー(選手)	米谷工業高2年	東和町

報告会では、陸上、ボート、バスケットボール、ソフトテニス、剣道、アーチェリーの6競技に出場した選手や監督のほか、体育協会、スポーツ少年団、学校、市関係者ら70人が参加。選手や監督一人一人に



佐々木会長から選手に記念品が渡されました

人に佐々木猛会長から記念品が手渡され、記念撮影や会食をしながら懇談しました。壇上での選手紹介では、選手から「初めての国体の舞台で緊張してしまっただけ、大会での経験を活かし今後も練習を重ね、今後も国体に出場できるように頑張りたい」などといった感想や、来年に向けた抱負などが話されました。競技の結果は上記のとおりで市出身の選手・監督が大活躍した大会となりました。

小さな一粒が 大きな森林へ

市民参加の 新たな森林づくり

自然の形に近い森林づくりを目指し毎年開催されている「市民参加の新たな森林づくり」(県、市、米川生産森林組合共催)が11月10日、東和町米川字西綱木地区の山林で行われました。

この事業は、今年4月に行われた津山地区の植樹に引き続き開催され、作業には米川小学校の全児童や関係者、約100人が参加し、ヤマザクラやキハダ、コナラなど200本の植樹と、ミズナラなどの種約3000個をまきました。開会式では市長が「山に木の苗を植える活動は、長く続けていくことが重要です」とあいさつを述べました。参加した児童たちは、米川生産森林組合の職員から苗木の植



市長とともにミズナラの苗を植えました

え方の説明を受けた後、学年ごとに別れ、作業に取り組み、思い思いの場所に一粒ずつ思いを込めてミズナラやクヌギの種をまいていました。6年の工藤聖也くんは「斜面が急で苗を植えるのが大変だったけど、今日植えた種が成長し、大きな森になってほしいと思います」と話していました。



思い思いの場所に種をまく児童たち

防災情報の知識と活用を学ぶ

大規模自然災害の発生を想定しての講演会

近い将来、高い確立で発生が予測されている宮城県沖地震や自然災害に備えて、防災情報の正しい知識と活用方法を学ぶ、防災気象講演会(仙台管区気象台・県・市共催)が11月11日、登米祝祭劇場で開催されました。

象情報の活用方法などを研修しました。開会式で布施市長は「本日御参加いただいた皆さんには、本日の講演会で防災に関する知識を習得して、それぞれの機関や地域で、防災のリーダーシップを発揮していただきたい」とあいさつを述べました。



防災について学ぼうと、多くの人が参加しました



「発生率99%の意味を知ろう」と話す中村浩二講師

講演会では、両講師からそれぞれ、予想されている宮城県沖地震が実際に発生した場合の具体的な被害や、過去に県内で発生した気象災害を例にあげた、防災気象情報の活用方法などが話され、参加者は熱心に受講していました。



過去の水害の映像を使い説明する中村謙講師